



熊本市  
菊陽町  
議会  
だより

2018.3  
No. 94

# きくよう



題字：武蔵ヶ丘北小学校6年 安田 粹さん



菊陽町議会フェイスブック  
携帯電話で左記のQRコード  
を読み取るとアクセスできます。

## 主な内容

- |                           |                         |
|---------------------------|-------------------------|
| 今年はこちらをめざす (各議員) …… P 2   | マイタウン (町民栄誉賞など) …… P 13 |
| 議案と委員会討議 (空家条例など) … P 3～5 | 議論百出 (全員協議会) …… P 14    |
| 町民と議会の語る会 …… P 11         | 担い手に聞く …… P 15          |



# 新年の抱負



今年もよろしくお願ひします

自立した議会、開かれた  
議会の確立をめざします。  
甲斐 榮治

議会活性化、政策研究・提  
言、広聴活動に取り組み、  
町民の期待に応えます。  
渡辺 裕之

「暮らし、生業を大切に復  
旧・復興を」国の制度として  
被災者支援を求めます。  
小林久美子

執行部と一定の距離はおく  
が、車の両輪の如く責任と  
信頼をもって、明日を耕す。  
上田 茂政

みんなのためになる！  
町民のために町のために  
議員として職責を果たす。  
川俣 鐵也

議会基本条例の実行が全て  
の「まちづくり」につながる  
強い思いで活動する！  
大塚 昇

①子育て支援として  
・待機児童の解消  
・学童保育の充実  
②高齢者の孤立化の  
防止に取り組みます。  
石原 武義

10年後、20年後の菊陽  
町のあるべき姿を見据  
え、直面する町の課題に  
着実に取り組む。  
岩下 和高

常任委員長として、議員  
個人としての務めを果  
たすために、今年も全力  
を尽くします。  
北山 正樹

①定住促進、地域コミュニ  
ティの充実・育成  
②信頼される議会  
吉山 哲也

地域と共に  
今までも、今からも  
吉本 孝寿

皆さんが安心して、仲良く  
楽しい暮らしができるよう  
尽力します。  
中岡 敏博

住みやすいまちづくりの為に  
声を出していきます。「高齢  
者の方々、子どもたちの健や  
かな生活を守るために！」  
佐々木理美子

今やるべき事を提言し、未来  
に繋がります。  
①農業生産への支援充実  
②学校教育の充実  
那須真理子

①仮設・みなし仮設住宅の皆  
様の復興に向けたサポート  
②子育て支援  
・学童保育の充実  
・待機児童の解消  
③空き家対策の推進  
西本 友春

農業振興、防災対策、通学  
路の安全性などあらゆる観  
点から物事を考え、1年間  
頑張ります。  
阪本 俊浩

初心を忘れず、皆様の声  
をお聞きしながら安心して暮  
らせるまちづくりに取り組  
みます。  
大久保 輝



# 空家条例などを可決

## 平成29年第4回菊陽町議会定例会

平成29年第4回定例会は、12月4日から12日まで開催された。議決件数14件は次のとおり。  
 なお、議案第40号、第44号は、委員会へ付託された。委員会での審議は別ページに記載する。

**承認第7号**  
 専決処分承認を求めることについて（平成29年度菊陽町一般会計補正予算（第3号））

全員賛成で原案承認

**承認第8号**  
 専決処分の承認を求めることについて（損害賠償額の決定）

《内容》町道において、空いた穴により原付バイク後輪のタイヤ及びホイールを損傷させた事件の損害賠償。

全員賛成で原案承認

**議案第39号**  
 菊陽町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成で原案可決

**議案第40号**  
 菊陽町空家等対策協議会条例の制定について

空家対策の推進に関する特別措置法の規定に基づく協議会の設置に伴い、

菊陽町空家等対策協議会条例を制定する必要があるため。

全員賛成で原案可決

**議案第41号**  
 平成29年度 菊陽町一般会計補正予算（第4号）について

全員賛成で原案可決

**議案第42号**  
 平成29年度 菊陽町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について

全員賛成で原案可決

**議案第43号**  
 平成29年度 菊陽町下水道事業会計補正予算（第2号）について

全員賛成で原案可決

**議案第44号**  
 町道路線の認定について

### 反対討論

法律には解釈というものがあふ。この議案に欠けている視点があふ、それは、自分たちのまぢをどのようにするのかというもので、県が許可をしたから仕方ないというものではない。  
 公道は、多くの人が通り抜けるものであり、袋小路の道路は災害時に避難することにも支障がでてくる。道標路としての考えも必要。県の職員がどのくらいかと思いが菊陽町にあるのか解らないが残念である。〈北山〉

賛成多数で原案可決

**諮問第2号**  
 人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて

適任と表決

**発議第3号**

道路事業予算の総額確保等に関する意見書（案）  
 提出者 北山正樹議員

主要町道の整備推進と既存道路施設の老朽化対策など維持管理が必要で、特に道路事業予算の確保及び日30年度以降も道路財持法の補助率等の高上げ措置を要望する。

### 反対討論

意見書の内容において賛成するものもあるが、しかし、特別措置法に関する内容で、全国にまたがる道路の予算の総額確保を望むものであり、それより一般財源化して自治体や住民が十分負担できる方法がよいと考える。〈小林〉

賛成多数で採択

**請願第2号**  
 「定周機（完全な信号機）の設置を含めた交差点の総合的改良をもとめる」請願書

総務常任委員会に付託  
 継続審査

※正式名称は定周機式信号機であるが、請願書のまま表記した。

### ■賛否表

○は賛成 ●は反対 変は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号等	結果	表決数		大久保	阪本	西本	那須	佐々木	中岡	吉本	吉山	北山	石原	岩下	大塚	川俣	上田	小林	甲斐	
		賛成	反対																	
議案44号	可決	15	1	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○

### 付議事件（追加）

発議第3号	採択	15	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
-------	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

結果は、可決・否決・同意・適任・採択・不採択・承認・認定・継続審査

※その他は、全員賛成のため議案の賛否は省略

# 活発化する委員会

## 総務常任委員会

議案第40号 菊陽町空家等対策協議会条例の制定について

・請願第2号 定周機（完全な信号機）の設置を求めた交差点の総合的改良をもとめる

付託された議案については担当課長から、請願書については紹介議員から詳細な説明を受け、質疑応答、また現地視察をおこない慎重に審議をした。

## 議案第40号 総合政策課

問 本条例をつくる経緯は。

答 空家等対策の推進に関する特別措置法第4条に、市町村の責務として空家等対策計画の作成及びこの計画に基づく空家等に関する対策の実施など、必要な措置を適切に講ずるよう努めるものとする努力規定が定められている。

菊陽町においても今後空家が増加すると見込まれるため、早い段階での対策が必要であると考え、本条例を上程した。

問 行政としては個人の所有物にどこまで踏み込んでいか判断に困る場合もあると思うが、実際にそのような事例があるのか。

答 1127年の空家調査で町内の空家については把握している。

熊本地震後、全てではないが、公費解体により対応がなされている空家がある。

区長や住民の方からも問い合わせがあった際には、総合政策課において現地を確認し、所有者に対し適切な管理をお願いしている。

また、各部署によって対応することもある。

問 協議会には、学識経験者が何人入る予定か。

答 学識経験者には、弁護士、建築士、宅建士、社会福祉士、文化財に詳しい方などを予定している。

↑↑↑↑

## 文教厚生常任委員会

本定例会において、文教厚生常任委員会に付託された議案はなく、提出された一般会計補正予算の中から、当委員会に属する分野についての内容を報告する。

## 菊陽西小学校給食室改築に

1億5,168万円余を支出

給食者の最大調理数1,000人分に対し、現在は児童と教職員とを合わせ、970人分を調理している。限界に達している。また、配膳室では給食を受け取りに来る児童で混雑が激しく、通路にも余裕がない状況である。同校は今後とも児童が増加することから、給食施設の拡充を決定した。

工事時期を考慮し、先行して設計業務等をおこなう必要があり、補正案を提出するにいたった。

実際の工事は、今年の夏休み期間中を利用しておこなう予定。支出に伴い、町債（町の借金）1億2,630万円を借り入れて、これに充てる。

## 病後児保育施設建設に504万円余を支出

病後児保育の目的は、「病気の回復期で、集団保育が困難な児童を対象に、『医療機関の専門スタッフ』で一時的に預かるサービスで、保護者の『子育てと就労の両立』を支援し、併せて児童の健全な育成に寄与する」として、子育て世代の支援を目的としている。

運営は社会福祉協議会があたり、菊陽中部小学校区の病院に建設する。

↑↑↑↑

## 産業建設常任委員会

議案第44号 町道路線の認定について

この付託された案件について土木部長から詳細な説明を受け慎重に審議をおこなった。

本会議において質問があった内容に対して法律的、現実的な観点からは、次のような説明があった。

## 法律的な観点

○行政は法律に優位しないという大原則があり、行政行為はこれに基づく。

○開発道路を規定する法律は都市計画法であり、「開発行為を行おうとする者は、知事の許可を受けなければならない」として「知事は、国が定める基準に適合しているときは、許可をしなければならない」というもの。

○「開発行為により設置された道路等の公共施設は、市町村に帰属する」との基本原則がある。この法的根拠に基づき、開発道路の帰属および管理を町がおこなっている。

## 現実的な観点

○宅地分譲が可能な市街化区域、集落内開発条例の区域は、周辺が既に宅地化しているため開発業者は通り抜けの道路を求めるとは、困難である。

○通り抜けの道路を計画することは、その先の公道までの第三者の土地を買収したり、建物を除却したりする必要も生じてくる。

↑↑↑↑

**問** 協議会委員の中に町議会議員が入ることについて、賛否両論あると思うが、どう考えるか。  
**答** 協議会の委員は町長が委嘱することになっており、町長が議会に対して協力依頼をすることになる。

「請願第2号」 総合政策課

これまでの経緯を説明。

H16年度の「武蔵ヶ丘小学校の通学路に関する要望書」では、「一方へ渡れる横断歩道と信号機の設置」と記載されており、定期期信号機設置の要望であったが、信号機設置の優先順位がそれほど高くないとの判断で押しボタン式信号機の設置となっている。（H19年度から押しボタン式信号機で中調）

H22年3月に押しボタン式信号機が設置される。

その後、H25年12月議会において、請願第5号「完全な信号機の設置または今ある歩行者用押しボタン信号機の移設と横断歩道の移設をもとめる」で総務常任委員会に付託されたが、審議不了で廃案。

説明後に現地で説明を受け、道路改良が現段階では困難であること、信号機設置の判断を議論するには時間をかける必要があるということになった。

議案第40号

「菊陽町空家等対策協議会条例の制定について」

全員賛成により可決

請願第2号

「定周機（完全な信号機）の設置を含めた交差点の総合的改良をもとめる」

全員賛成により継続審査



課題の交差点を視察

西部町民センター内の武蔵ヶ丘児童館改修に  
1,363万円を支出

同センターの児童館室を、隣接している武蔵ヶ丘北小学校の学童保育もできるように老朽化した空調設備の入れ替え、カーペット等の設置等をおこなう。

図書館運営業務委託料に404万円を支出

図書館ホールの利用が一昨年の熊本地震以来、他の自治体の施設が使用できないなどの要因で、利用者が増加していることにより、運営に関する人件費の増加分を補正する。

以上が代表的な項目であるが、いずれも担当課から丁寧な説明と質疑をおこなった。補正後の一般会計の総額は、166億4,261万8,000円となった。

現地視察では次の施設を訪問した

- ・あおぞら保育園 企業型保育所で、熊本セントラル病院が運営し、病院と一般からの児童も受け入れられる。
- ・なかよし保育園 町立保育所の一つ。
- ・中部小学校及び西小学校の学童施設建設現場 来年度から学童保育のために建設中の施設現場。
- ・病後児保育室 町営の病後児保育施設。
- ・元気の森フットボール保育園 私立の保育所の一つで、園内に室内プールを保有している。
- ・無認可企業内保育所 企業型の保育所。

開発道路が私道であるアメリカット

○上下水道管が敷設してあるが、これが破損しても町による修理ができない。また、漏水が続く原因にもなる。

○陥没があったり、どこどこになっても町による修繕や舗装ができない。

○その結果、町民の皆様が、何のために住民税や固定資産税を払っているのか等の疑問が生じ、納税の意識が低下する可能性もある。

そして、なぜ町が引き取らなかったと問われたときに「行き止まりだから」では理解を得ることは難しいと考える。

説明終了後、当該路線の現地視察をし、採決をおこなった。

全員賛成により可決



新山地域の道路



南花立地域の道路



上田 茂政 議員

### 引き続き「生活都市菊陽」の 実現をめざしてもらえないか

**答** 熊本地震以前の町の回復に努め、さらに「生活都市菊陽」につなげていく

**上田** 後藤町長は、「生活都市菊陽」の実現に向け努力されてきたが、昨年の熊本地震の復旧・復興も確実にすすめてもらいたい。次期の町長選挙に出馬され、町の基本構想の実現に向け実行していただきたい。

### かんがい施設の現状は

**上田** 白水台地の農地かんがい施設は、整備後35年が経過しており、老朽化している。施設の現状はどうなっているのか。補助率の高い事業を模索

### 総合体育館事業にも着手

**町長** 1年前の誓いとして、第一に、先人の志と知恵を忘れない。第二に町の財政は厳格させない。第三に、町行政は町民のためにある、ということをかかげた。3期目の重点施策として、待機児童の解消と教育及び施設の充実などを図ってきた。熊本地震以前の菊陽町を回復し、さらに「生活都市菊陽」につなげていきたい。総合体育館事業

に着手し、4期目にも出馬したい。

### 深迫ダムの漏水シートが

破断している。この被害額は、6,000万円を超えるといった甚大なものになっている。この災害復旧工事については、県からは町を含む受益者の負担は必要ないという判断をもらっている。本年度内に工事を発注したい。また、管理に要する経費については、H21年度までと同様の二分の一の額を県に要望した。これについては、県からも、二分の一の負担を守ってほしいと回答をもらっている。

### 農政課長

至る所で漏水するなど老朽化が進んでいる。再整備については、補助率の高い県管土地改良事業での実施を模索しているところである。

### 深迫ダムの対応は

**上田** 深迫ダムの現状については、報告を受けているが、今後の町の対応はどうなっているのか。工事は受益者負担なし

**農政課長** 日29年7月4日の台風3号によって、



西本 友春 議員

### 防災行政無線戸別受信機の 福祉施設への無償貸し付けは どこまで進んでいるのか

**答** H30年度から進めていく予定である

### ピロリ菌検査への助成

**西本** ピロリ菌検査の実施と助成を求める署名を町民の声として5月24日に町長に提出させてもらったが、町はどのような考えでいるのか。  
**町長** ユー、アロウ名の署名と内容的にも重く受け止めており、近隣自治体と連携し取り組むよう指示している。

### デマンド交通

**西本** デマンド交通の検討委員会を設置して、1年〜1年半かけて住民アンケートや先進地の視察も含めて検討をおこなうべきだが、どのように考えているのか。  
**総合政策課長** 仮称交通弱者対策協議会を設置し、事業実施のための組織・事業予算・財源・事業スキームを構築した後、1〜2年かけて作業をおこなない、交通弱者の実証実験を始めたかと考

えている。  
**西本** 利用者の多い路線をルートづくりピストンで回数を増やし運行、それ以外のエリアはワゴン車を利用した乗り合いタクシーを利用する複合的なシステムを提案するが、どのように考えているのか。

### 総合政策課長

乗車状況・地域の特性・道路幅員の状況や財政的な負担等を考慮しながら、仮称交通弱者対策協議会の中で構築することを考えている。

### 待機児童解消

**西本** 中途入所で兄弟が別々の施設の場合、新年度に同一保育所に通える配慮はどのようにおこなっているのか。  
**子育て支援課長** 来年度からの選考については、このあたりを加味する実施要綱の改正をおこなっており、兄弟が同じ保育

所に入所しやすいような配慮をおこなっていくこととしている。

### 防災行政無線

**西本** 老人ホームやグループホーム等の福祉施設への戸別受信機の無償貸し付けはどこまで進んでいるのか。  
**総務課長** H30年度から福祉施設への無償貸し付けを進めていく予定である。

### 西本

災害時において、地域防災の中心者として活動することが期待される防災士宅への戸別受信機の無償貸し付けをどのように考えているのか。  
**総務課長** 仮称であるが、菊陽町情報メールサービスで防災無線で流す情報を送信する予定なので、無償貸し付けは考えていない。





甲斐 榮治 議員

多目的広場は町の次の発展に  
つながる活用を

**答** 補助事業を使って防災広場として活用する

**甲斐** (仮称) 光の森多目的広場へ以下「多目的広場」というのを防災広場にすることを決定であるか。また今日に至るまでどんな経過を経たか。

**総合政策課長** 日28年3月議会では、同広場の活用について「立地条件が持つ特性を踏まえたコンセプトプランニングを策定する」と答えた。その後熊本地震を踏まえて、熊本地震復旧・復興計画の中で防災広場の整備に取り込むこととした。日28年のアンケート調査では8割が「防災広場の整備が重要」と回答している。

この過程で、熊本地震が「激甚災害」の指定を受け、国の補助事業としての取り組みも可能となり、見込みがたつたので、9月議会での行政報告と

なった。

**町の次の発展の要素に**

**甲斐** 防災については、学校のグラウンドや体育館、既設の公園、商業施設の駐車場等地域社会のインフラの活用を考えるべきである。

多目的広場は町の一等地にある。光の森地域が菊陽町の顔になりつつあるなかで、同広場の活用については町民の期待も高い。県の大空港構想とリンクする等菊陽町の次の発展に関わる要素となるよう、広場の活用を考えたほうがいいが、どうだろうか。

**町長** 私としては補助事業を使って、防災広場として進めて行きたいと考えている。関係区長も賛同されている。

**甲斐** 今までも事業を提

示する際、町のやり方は唐突であり、説明も不十分だった。事業の全体像、期間、財源等計画の概要を示すべきである。知ら

された時にはすべて既成事実となっていて、意見の述べようもないという状態は避けてほしいが、**町長** この広場に防災機能を持たせることは言ってきたし、住民の意見も聞き、補助事業の対象にもなるということで進めてきた。手前は踏んでいくつもりだ。

この他に、「町立保育所の民営化事業」・「教育集会所建設事業」について質問。

今までも事業を提



(仮称) 光の森多目的広場



佐々木理美子 議員

小学校運動部活の  
社会体育移行はどのような

**答** 適切で安心してスポーツができる環境づくりの整備を図っていく

**佐々木** 菊池市の泗水地区では、小学校の運動部活の社会体育移行ができたと聞いたが、菊陽町ではどのように進んでいるのか。

**教育次長** 本町では、日27年3月に、小学校運動部活を社会体育に移行する検討委員会を立ち上げ、児童にとって適切なスポーツ活動の環境づくりを進めている。

**佐々木** 現在の4年生が6年生に進級したときに、運動部活が社会体育に移行する。部活への思い、意気込み、希望を考えると、部活ができなくなる不安を抱く児童へのケアをどのように考えているのか。

**教育次長** 検討

委員会の意見をいただき、適切で安心してスポーツができる環境づくりの整備を図っていくための整備を図っていく

佐々木 しっかりとした保護者、PTAへの説明、町からの援助、使用料の減免など、心ある配慮をお願いしたい。

その他の質問  
民営化後に残る予定の武蔵ヶ丘第一保育園の活用

◇各小学校の部員数、指導者数

小学校名	部活動	部員数	指導者数	
			数	割合
菊陽中部小	男子ミニバスケット	31人	2	0
	女子ミニバスケット	27人	2	1
	サッカー	34人	3	2
菊陽南小	バドミントン	26人	4	0
	総合運動	12人	6	0
菊陽北小	女子ミニバスケット	27人	4	0
	サッカー	28人	4	2
武蔵ヶ丘小	男子ミニバスケット	41人	5	0
	女子ミニバスケット	15人	2	0
	サッカー	28人	5	0
	男子バドミントン	28人	5	0
	女子バドミントン	26人	5	0
菊陽西小	男子ミニバスケット	25人	1	0
	女子ミニバスケット	18人	1	0
	サッカー	42人	4	0
	バドミントン	64人	3	1
	軟式野球	22人	2	5
武蔵ヶ丘北小	男子ミニバスケット	9人	3	0
	女子ミニバスケット	13人	2	1
	サッカー	20人	2	1
	バドミントン	53人	5	0



大久保 輝 議員

## 災害時等にSNSを利用した 情報発信はできないか

**答** 今後検討していく

**菊陽町復興まちづくり  
計画（案）とは**

**大久保** 計画の目的とは。  
**総合政策課長** 災害に強  
いまちづくりをめざし復  
旧・復興アクションプラ  
ンの内容や整備スケ  
ジュールを具体化するこ  
とを目的としている。

**大久保** 農商工業の更なる  
発展が創造的復興にな  
ると考えるが、町の具  
体的な取り組みは。  
**総合政策課長** この計画  
は、菊陽町の防災・減災  
に関することになる。

**大久保** 計画策定に当た  
り行われた住民アンケ  
ートの調査結果に、「情報  
伝達不足」という町民の  
声がある。対策として、  
SNSによる情報発信は  
できないか。

**総務課長** SNSを有効  
に活用している自治体等  
を参考に今後検討してい  
きたい。

**大久保** 計画策定プロセ  
スにおける町民意見の反  
映は。  
**総務課長** この計画のた  
めだけの意見収集でな  
く、これまでいただいた  
町民の意見を総体とし  
て反映させた。

**（仮称）光の森多目的広  
場の土地利用は**

**大久保** 多目的広場を防  
災広場とする計画を策定  
した会社への依頼は、町か  
ら行ったのか、プロポーザ  
ル方式であったのか。  
**総合政策課長** 5社を指  
名してのプロポーザル形  
式で選定した。

**大久保** アンケートをも  
とにした計画策定ではな  
かったのか。  
**副町長** 計画書を策定し  
ていく中でアンケート調  
査も実施するところで依  
頼している。

**大久保** 菊陽町総合計画  
に、多目的広場を防災公

園として整備するという  
具体的な記載はないが。  
**町長** 場所を明確に記載  
してはいないが、そのよ  
うな位置づけをしている。

**大久保** 広場全体3ヘク  
タールの内、2ヘクター  
ルを防災広場として整備  
予定とのことだが、広場  
全体の利用計画・構想は  
あるのか。

**総合政策課長** 残りの1  
ヘクタールは防災機能を  
持たせるものとなるよう  
今後検討していく。

**大久保** 他の公園の防災  
機能を強化することで、  
多目的広場は別の利用用  
途を考えることはできな  
いのか。

**総合政策課長** 西部支所  
を有する光の森町民セン  
ターは、人口が集中する西  
部地域の防災拠点であり、  
町全体の防災対策能力が  
高まるものと考えている。



小林久美子 議員

## 子ども医療費自己負担の解消を 財源の見通しが立てば、見直しを考える

**答** 財源の見通しが立てば、見直しを考える

**小林** 子ども医療費につ  
いては、町外の医療費の  
現物給付を日28年4月か  
ら実施すると同時に、ゼ  
ロ歳児から3歳までは無  
料、4歳から15歳までは  
1医療機関当たり500  
円の自己負担が必要と  
なった。（調剤薬局は除く）  
大津町をはじめ、菊池  
市や合志市ともに中学3  
年生まで自己負担がなく  
無料である。山鹿市は高  
校3年生まで無料。自己  
負担があるのは、近隣で  
も菊陽町だけである。何  
とか無料化できないか。

**自己負担は  
約1,700万円**

**健康・保険課長** 日28年  
度の子ども医療費の総額  
は約2億円で、そのうち  
の8・5％（約1,700  
万円）が自己負担である。  
**町長** 今、事務事業など  
の見直しをしているが、  
財源の見通しが立てば、

子ども医療費の見直しに  
ついてでも考えていきたい。

**厳しい子どもの生活実態**

**小林** 熊本県の子どもの  
生活実態調査速報でも、  
経済的な理由で、食費を  
切りつめたり、医療機関  
を受診できなかったとい  
う結果も出ている。ぜひ  
前向きに検討をお願いし  
たい。

**給食費の一部補助を**

**小林** 給食費の無償化に  
ついては、今年の3月議  
会でもとりあげたが、町  
の給食費は、小学校が4、  
100円、中学校が5、0  
00円であり、無料化に  
いては、約2億円必要で  
あり、考えていないとい  
う答弁であった。しかし、  
一部補助からでも実施で  
きないか。

**就学援助制度の利用を**

**学務課長** 小・中学校給  
食費就学援助予算には毎  
年2千万円ほどの予算を  
つけており、経済的理  
由で支払いが困難な児童・  
生徒の保護者にはこの就  
学援助制度を利用しても  
らっている。

**その他の質問**

1、白川（きえもん）の護  
岸整備について  
2、巡回バスのあり方、  
乗り合いタクシーなど  
について  
3、空き家などの相談に  
対する庁舎内の窓口対  
応について



# 先進地から学ぶ

## 文教厚生常任委員会 福岡県 研修報告

那珂川町では、  
病児・病後児保育の  
実状を研修

病児・病後児保育の目的は、「児童が病気にかかっている、または病気の回復期の児童を、『医療機関の専門スタッフ』で一時的に預かるサービスで、保護者の『子育てと就労の両立』を支援し、併せて児童の健やかな育成を目標としている。

対象者は「生後90日から小学校6年生までの児童で、定員は4名である。

実務はキッズ・デイケア・ルームなかかわの名称で、かく小児科医院が看護師1名、保育士2名を配置して一括して運営しており、児童の病状が急変した時などには、同病院が

迅速に対応できる体制がとられていて、保護者は安心して児童をあずけられる。

昨今の労働環境の厳しさに伴い、休みたくとも休めない子育て世代の求めに応える事が必要な時代でもあり、本町でも積極的に取り組んでいく必要があると感じた。



病児・病後児保育室

岡垣町は、保育所  
民営化の進め方  
について研修

岡垣町が民営化へ移行した理由は、

①民営化は国の方針であり、岡垣町の財政

上必要であること。

②民営化後の法人の経営上、規模の大きい園を対象とした。

③民営化で生まれた財政は、広く保育分野を充実させる。というものであった。

④民営化に伴い、同園に勤めていた、同町の保育士の継続雇用

普処を引き受け法人に求めた結果、ほぼ全員が引き受け法人に勤務することになり、運営者が変わる際におこなう合同保育等も、実質的には必要がなくなったことであった。

⑤法人選定に関わる情報の公表と民営化後の同町の役割

すべての応募法人名は応募時点で公表し、引き受け法人が決定した際は、選考委員会が評価した、各々の応募法人の評価・獲得点数の公表も含め、積極的に経緯を公表した。

また、民間移譲後の同町の役割として、「民間

事業者への運営の指導や助言を行い、保育の質の向上を図る役割を担う。また、子育て支援という広い分野において、住民の子育て支援のための取り組みなどを通じて、責任を果たす」としており、民間移行後の岡垣町の責務等も明確にしていた。

小学校の部活動を社会  
体育へ移行させること  
について、春日市とN  
PO法人 春日イーグ  
ルス」を視察

社会体育についての福岡県の姿勢は、小学生を対象とし、小学校のグラウンドを利用した運動でも、児童生徒の「個人的」活動と捉えていて、一般的な学習塾、たとえば公文教室、そろばん教室、英会話教室、剣道とか柔道とかの武道教室などと同じ扱いとのことであった。

訪問したNPO法人春日イーグルスでは、資格を有し、かつ有給の体育指導員が児童の指導を担当していて、

その費用について春日市は、「社会体育団体が個々に設定する金額を、保護者が負担する」としていた。

また同NPO法人は、市からの補助金は受給しておらず、会員からの会費・受講料で運営していて、保護者は、週一回の運動の指導料で、月4,000円余りを負担している。

本町の小学校では、月数百円、一年でも数千円の負担で、部活の指導を受けられていて、スポーツ指導員に関する人件費は含まれてはいない。学校の教職員によるクラブ活動の指導が当たり前になつて

いる現状から、大きくかけ離れている実状が判明した。

H31年度に社会体育体制へ移行する場合は、まず第一に体育指導員の確保が重要課題となる。また、保護者の負担についても、注意深く取り組むことが必要であることを確認した。

※「小学生の部活動の  
現在と未来」

現在の熊本県では、学校教育の延長という観点で、小学校の教師による部活動の指導がなされているが、熊本県以外の多くの都道府県では、学校外のスポーツ団体によっておこなわれている。

県は部活動を担当している教職員の過重な労働実態等の解決が必要であるとして、H31年度から他県と同様にしていく方針。



視察風景

# 地域の交通手段の 充実に向けて

## 総務常任委員会研修報告

総務常任委員会では、町民の関心が非常に高い予約型乗合タクシーの研修を11月7日に福岡県八女市で委員会研修を実施した。

八女市はH18年とH22年の二度の合併を経て、人口約7万人、面積480平方kmであり、福岡県内で2番目の広さで、その66%を山林が占めている。

八女市では、八女市地域交通協議会を事業者・土木事務所・公安委員会・住民の代表、学識経験者から構成している。

事業者選定は事業者からプロポーザル方式で選定がおこなわれて

いる。

会員登録は、80代が半数を占め、最高齢は97歳である。予約受付、配車などの運行業務は商工会に委託され、総額1,800万円以内、人件費が1,300万円、残りはシステム及び事務調査費にあてられている。

H19年7月から八女市住民移送サービス研究委員会を設置し、H22年1月に第1次実証運行開始、12月に、第2次実証運行が開始され、H23年4月には12台を運行、H24年4月に本格運行へ移行されている。

市内11エリアのエリア内移動を原則に、平日のみ8便、10人乗り



八女市予約型乗合タクシーの予約管理室

ワゴンタクシーを12台、片道300円で玄関から玄関まで送迎している。予約受付・配車等運行業務を八女商工会に委託し、運行業務を地元事業者、予約配車システムをNIT西口本に委託し、利用方法は事前登録をおこなう。登録者は利用する30分前までに電話で予約し、初1日の利用客は20数

人であったが、半年後には、目標を超える多くの市民が利用し、H28年度においては1日平均217人の利用で年間5万3900人が利用をしている。利用者に喜んでいただけるように、商店街の買い物

運賃においては、タクシーの初乗りの半額という事から300円で設定している。

利用状況は、運行当

非常に印象的な説明だったのは、予約型乗合タクシーという名称の事業であるが、イメージとしては、予約型乗合バスというところを説明した方が分かりやすいとのことであった。

本格運用まで5年を要した。「ニーズはあったが反映できてない」など、全てがスムーズに進んでいるわけではなかったが、現在では80%の市民の暮らしが便利になったというアンケートの回答であった。

研修当日、予約センターも見学したが、短い時間のあいだでも予約が入り、ニーズがあることを改めて理解することができた。

八女市のシステムを菊陽町にも当てはめ、高齢化が進むことが考えられる菊陽町においてもバス停からバス停までの、コミュニティバスの運行ではなく、玄関から玄関までのドアツードアの運行が望ましいのではないかと、今後委員会でも検討していく。

議会が開催する町民と語る会でも、コミュニティバスの意見があり、町民の関心も高い。そしてこれまでの一般質問でも取り上げられる。

八女市のシステムを菊陽町にも当てはめ、高齢化が進むことが考えられる菊陽町においてもバス停からバス停までの、コミュニティバスの運行ではなく、玄関から玄関までのドアツードアの運行が望ましいのではないかと、今後委員会でも検討していく。

11月14日午後7時

# 町民と議会の語る会

光の森町民センター(キャロップシアター)

町民と議会の語る会がおこなわれた。参加者22人、議員17人、役場職員3人が出席した。3常任委員会の委員長より委員会の報告、議会運営委員長より政務活動費の状況についての報告をおこない、その後、意見交換をおこなった。以下、意見交換の概略を示す。

## 巡回バスの路線の見直し

**Q** 巡回バスの路線の見直しにおいては、高齢者の利便性を考慮しておこなってほしい。

**A** 利用実態から検討することだが、利用していない方はなぜ利用しないのかといった声も聴いてほしい。

## 政務活動費

**Q** 政務活動費の使途は調査研究費の割合が高いが、なぜか。

**A** 政務活動費は年間24万円。そのうち使途の82%、92%が調査研究費。その理由は交通費・宿泊費がかかるため。その他、広聴費・図書購入等にも充てられている。

## 町立保育所民営化

**Q** 保育所は民営化した方が町の負担が少なくなるので進めてほしい。

**A** 町は、現在ある7園のうち5園を来年4月より民営化する方針となっている。残る2

園は病児保育等、私立ではできない保育をしていくのが方針。

**Q** 私立保育所は、園ごとに格差が出てくる可能性もあるのではないか。

**A** 私立保育所それぞれで特色が出てくると思う。

## 教育集会所建設

**Q** 補正予算のうち、馬場・入道水の集会所建設費に6,600万円・3,300万円の費用が提案され可決されている。このような多額の予算は、補正ではなく本予算で議決すべきではないのか。

**A** そのような質問も出たが、町の答弁は県に対する補助申請の見込みがあったので補正予算で出したという答弁であった。同時に震災復興に関する費用も一緒に補正予算として出されていたため、否決はしにくいという事情もあった。

## 防災広場新設

**Q** (仮称)光の森多目的広場を、今後は防災広場として整備するということであるが、取得した当初は文教厚生施設や警察の敷地として検討されていたのではないかと思う。あれだけの土地を防災広場とするのはもったいないのではないか。

**A** 議員からの一般質問へ答弁しただけで、議会に正式な報告はない。その際、町は、公共用地先行取得債を利用し、取得しているため公共用地として利用しなければならぬ。昨年の熊本地震があり、あのよ

うな空間を持つておくのは大事であると思っ

ているという答弁であった。

しかし、あの土地を利用しての防災広場はもったいないという意見も聞く。積極的な活用など意見を町へあげてもらいたい。



**Q** 県が取得し、熊本市・合志市も含めた防災拠点であるならば、広さも必要だと思うが、町の防災広場として3ヘクタールも必要はないと思う。有意義に活用してもらいたい。

**A** 以前から多くの議員が一般質問をおこなっており、H28年度中には土地利用の方向性を決定するということがなっていたが、震災があり、防災広場に

するという方針になった。防災施設は必要であると考え、あの土地に3ヘクタールも必要なのか、しっかりと検証し、提案をして

いきたいので、皆様の意見をいただきたい。

**Q** 防災公園を作る必要はない。イズミヤイオン等の大型商業施設の駐車場などを利用して、協定を結ぶべき。

**A** 防災広場、防災センターとはどうなのか。単なる避難所とするのか、救済活動の拠点とするのかが明確でない。また、菊陽町として、あの場所に防災広場が必要なのかも明確ではない。今後も様々な意見があれば教えていただきたい。

## 空港とのアクセス

**Q** 空港を結ぶ輸送手段については、健軍や大津へとモノレールで結ぶということではできないのか。

**A** 空港周辺4カ町村の会合があり、その際のワークショップで、空港からの輸送手段をモノレールで結ぶのが一番良いという意見であった。そのような構想を4カ町村で提案していきたい。

## 平成28年熊本地震 災害復興支援特別委員会の取組

H28年10月の東口本大震災の被災地研修以後の特別委員会の取組として、第6回H28年11月17日に熊本地震の振り返りに対する意見交換をおこない、今後の復興計画に対する考え方を行政と議会とで意見交換をおこなった。

第7回 H29年1月18日に、上地改良区から、上井手・下井手・津久礼井手・玉岡井手の農業用水路と大切畑ダムから深迫ダムに通じる水路の被害と復旧状況の報告及び今後の課題と復興計画について説明・意見交換をおこなった。

第8回 H29年9月12日に町からの特別委

員会に対する継続支援の依頼と、特別委員会の今後の取組については議員各位の意見交換をおこなった。

第9回 H29年11月16日に大菊上地改良区から、大切畑ダム・深迫ダムの復旧状況と今後の農業用水の供給計画や対策について説明を受けるとともに意見の交換をおこなった。特別委員会の今後の課題は、町の復興計画はもとより、白宅再建が困難な方々の再建に向けた支援・施策を見守ることである。



仮設住宅 みんなの家

## 広聴の強化に向けて

昨年8月に議会運営委員会として、広報広聴の進め方について長峰県長与町で視察研修をおこなった。そこでは広報広聴機能の充実強化のため議会が広報広聴常任委員会を設け活動されていた。

その後、菊陽町議会

でも議会活性化の一つとして「広聴チーム」をつくり、今までの内容をさらに発展させていくために取り組みを進めているところである。

### 町民と語る会

などを開催

この間、「町民と議会

の語る会」の開催をはじめ、区長会との意見交換会、議会モニターのの方との意見交換などに取り組んできている。その中では、政務活動費の使い方、巡回バス、防災広場の計画など多方面からの意見が寄せられている。

### 議会住民懇談会

要綱制定

この間、10人以上のグループ、団体の要請で開催できる「住民懇談会要綱」を定めた。現在取り組んでいる「町民と語る会」などを充実させていくために、今後「広報広聴常任委員会」の設置に向け、議会で検討していく予定である。

## ICTの導入に向けて

AI（人工知能）という言葉を聞かない人がないほど、デジタル技術が一般的になってきた。

将棋や碁の世界でも、AIが優位にたち、車の自動運転、介護現場でのコミュニケーションの場としてなど、将来は銀行の窓口業務も、AIが担うなどが現実的になってきた。

そんな中で、最もデジタル時代に乗り遅れているのが行政と議会かも知れない。銀行や証券会社の取り組みなどを参考にした場合、行政の窓口業

務などの多くは、AIに任せられる。窓口業務をはずれた職員は、行政本来の業務の拡充が図れる可能性もでてくる。

議員の業務の本質は考えることであり、町民の皆様の声に耳を傾けることであり、議論することであり、よりよい策を講じることである。

その際必要なものが各種の資料であり、検索ツールを常時手元に置いて、それを使いこなすことである。その必要性を認めるから、本議会を初め、多くの地方議会で、ICTの導

入を進めている。改めて本議会の取り組みを紹介する。（北山）

### 導入する目的

議員の務めは、関係課から説明とともに配布された文書を吟味し、その上で対案を考え、討論していく。その先は町民の皆様への幸福の最大化に寄与すること。そのために、関係する資料のすべてを、必要に応じて、必要資料を確認することが必要になってくる。その資料のすべてを持ち歩くことが可能なシステムは、ICT機器を利用した方式が最適である。そこ

で、本議会でも導入を前提に取り組むことに意見が集約した。経過民間企業の関係者を招いて、ICTシステムの説明を聞いた。基本的な構図としては、通信（ネットワーク）の先に資料を入れた本棚を設置して、タブレットなどを使ってその本棚の資料を「閲覧」というものである。

通信やタブレットを使うが、自宅や図書館などで本棚から資料を取り出すのと、本質的には変わらない。ただ、専用の機器を使うだけである。今後は、実際に機器を使った研修をおこなう予定にしている。



# 荒木雅博選手(中ドラゴンズ)へのメッセージ



## 保育園時代の先生

小さい時から体は大きな子でしたが、特別何かに勝れているということはありませんでした。おとなしくて、とてもやさしい子供でした。何ごとにもコツコツとする努力家だったと記憶しています。

## 大堀木区長

大堀木出身ということで、大変喜んでます。区では2000本安打達成の横断幕を大堀木橋に掲げ祝いました。今後はお身体に気を付けられ頑張って下さい。これからのご活躍を区民一同お祈りしております。

## 中学時代の同級生

小学校6年生の時、子供会のソフトボール大会で、大堀木チームと対戦しました。その時彼はピッチャーでしたが、こてんぱんにやられてしまいました。同じ同級生にすごいやつがいるなあと思いました。生きる道は違いますが、自分も頑張りたいと思います。

## 荒木選手の妹(美也子さん)

兄は父とどこでもキャッチボールをしています。家の中でもするものですから、障子が破れてよく母に叱られていたのを思い出します。また、寒い日に私が習いごとに行く時などは、陽の当たる所を私に歩かせたり、何でも私を優先に考えてくれるやさしい兄です。



## まちのボランティア紹介

# 小さな落書きも許しません!



菊陽町青少年健全育成町民会議 環境部会と役員職員の皆さんが、菊陽町にある落書きを消して回りました。落書きは、スプレータイプの塗料で意味不明の文字、マークがほとんどでした。中には、信号機の支柱にもありました。大津警察署津久礼駐在所の警察官の協力もあり、9か所の落書きを3時間かけて、無事にすませました。落書きを放置していると、次々に増えて消すことも困難になります。また、目の届く管理されている場所を見せることで、犯罪の防止に繋がると言われています。(割れ窓理論) お疲れさまでした。

### 参加者から一言

落書き消しの方法は、上から同じような色のペンキで塗るもので、色を調合することが難しいものでした。きれいになって良かったです。



# 議論百出 責任ある議決のために

議会全員協議会

全員協議会は、議員が自由に意見を述べ合う会議で公開されている。発言に特別な制限はなく、時には白熱した議論が交わされる。今回は町の重要な事業である「仮称」光の森多目的広場の活用」と「町立保育所の民営化」についての議論を特集した。

## 多目的広場の活用

12月7日

町の提案は、「同広場を防災広場として整備する」である。これに対する意見の概略を示す。

数社の提案があったと聞く。他社の提案の内容も明らかにすべきだ。

22億円かけて取得した土地を防災広場にするのは納得し難い。

住民懇談会での防災広場整備への賛成は皆無。住民は公民館などの近場の防災機能強化を望んでいる。

広場を災害時に救援物資集積、ヘリポートとして活用するのはよいが、避難所にしてしまえば機能不全に陥る。避難所は別の場所がよい。

災害時の自衛隊駐屯の場所やヘリポートは必要。体育館の併設もすべき。車中泊への対応はさんさん公園でもできる。

アンケート代も提案の入札に含んでいたのは問題だ。防災公園は必要だが、近隣2カ所の公園でも対応できる。

計画がここまでできてしまっただけの説明は残念。共に考える場面があってもよいのではないか。災害対策の拠点は、輸送の面から航空港線沿線に置くべき。体育館に隣接する場所がよい。

計画そのものがおかしい。防災拠点とするならさんさん公園もあるし、学校施設の活用、民間施設利用の協定も結ぶ方法がある。資産の有効利用を考えるべきだ。

これまでの経過からすれば、防災広場の計画は唐突だ。その整備には多額の投資が要るし、維持費も年500万円以上かかるだろう。この一等地は町が活性化するために、もっと衆知を集めて検討し直す方がよい。

自然災害に対する拠点は必要。町の方向はいい。敷地を全部使わず、必要なだけ整備。コンパクトでよい。

防災ありきではない。何がほしいのかを住民にアンケートできればよい。「防災広場は必要ない」というのであれば、つくる必要はない。

災害は地震だけでなく、火災もある。火災対策も含めて検討すべきだ。

かまどベンチ等は自衛隊が駐屯すれば必要ない。防災広場の全体像が分かっている。

防災広場が必要なから、収容人数が大きいの、さんさん公園を優先すべき。補助金事業で多目的広場をどうにかしたい姿勢が見え見えである。

補助金を使えば、将来的にも用途が限定され、転換がきかなくなる。

この計画自然、一部で進められている。広場は町全体の資産である。住民や議会等の意見を広く聞いて、限定的ではなく複合的に利用できるように再検討すべきだ。

## 町立保育所の民営化

12月11日

町は11月16日に引き受け事業者の募集要項と選考基準を文教厚生常任委員会に示した。これを受けての主な論点。

H21年には、町は民営化議決の後に引き受け事業者を決定するのを適切とした。今回は説明はしつつもすべてが進んでしまった後、最後の時点での民営化議決となる。これは違法ではないが、丁寧な運営とは言えない。

町の進め方に賛成はない。民営化には賛成だ。このまま進めてほしい。

民営化には大多数が賛成だ。しかし、今後の進め方には注目したい。特に37人の正職員と106人の臨時職員の処遇は大切な課題だ。

町立については、社会福祉協議会立にすることも考えられる。

すでに募集が始まっている。この時点での民営化議決は不可能である。民間移管そのものが適正か、町立の残し方や5園一斉の推進が妥当か、手順は適切か、事業者選定の公正さ等、すべての判断が最後の条例変更の議決にかかってくる。

1月中旬に応募締め切り、3月末日に引き受け事業者決定となれば、4月から民間移管は困難。子どもや保護者の視点からしても、年度途中ではなく、H31年4月に移管すべきだ。



# 輝く若いちから



菊陽町の担い手シリーズ



清田 瑞樹さん  
平成7年2月23日生 23歳

清田振金は自分で4代目になります。曾祖父、祖父、そして父親と受けついできた家業です。それを継承し、繁栄させて、次の世代に受けついで行くとの思いがあり、父親にたのみ、教えてもらうことにしました。

父を追い越して自慢できる仕事ができるよう、そして菊陽町の若い2代目・3代目と協力し、後々残るような仕事になりたいと思っています。

寒い中、暑い中、「きつい、むむい」と愚痴が出ても一人で現場をまかされた時、「一歩前に仕事できるぞつなげたね。後は自分で考えて、失敗のなかぞつ」と言われた時は、思わずニヤッとしました。

まだまだ半人前でもずがしい仕事もいっぱいあります。祖父に聞き、父にたずねながらがんばります。



吉岡 敬太郎さん  
平成8年11月30日生 21歳

## 農業を始めようと思った理由

高校に入るまでは家が農家というだけで、手伝い等もやったことがなく特に農業に関心を持っていませんでした。しかし中学3年生の頃、進路選択をするにあたって、普通に就職するにしても代々やってきた家業である農業がどういったものなのか知っておこうかなと興味本位で、熊本農業高校に進学することになりました。進学後いざ農業を学んでみると、初めての体験ばかりで戸惑うことも多くありました。自分で作物を栽培してみると、主に体を動かす作業ばかりで最初の頃は慣れるまで大変でした。しかし、作業をこなして作物を育てていくうちにそんな作業が楽しくともやりがいを感じられるようになりました。3年間を通して、現役農家の方の家で一週間泊まり込みで働いたり、法人化されている大きな農家を見学し話を聞いたりと、様々な研修を経て農業の魅力に惹かれ、だんだんと農業をやりたいと言う気持ちが強くなり、家を継いで就農することに決めました。

## 今後の目標

現在は熊本県立農業大学校を卒業し働きだしてもうすぐ1年になりますが、まだまだ覚えることばかりで大変です。しかし、父をはじめ周りの先輩方に栽培のやり方、経営のやり方を教えていただけるのもとてもいい環境で農業を学び経験を積んでいると思います。まだまだ駆け出しですが、今後は日々得られる経験を糧にして一経営者として成長し家族や周りの入達を支えられる農家をめざします。

## 楽しかったこと

日々作業をこなしていくにつれて、知識や実力をつけていけると実感できることです。

## きつかったこと

特にいそがしい時期は休みなく働かなければならないので大変でした。

## ありがとうございました

### 災害時緊急対応をされた皆様 特集⑥

今回は民生委員・児童委員の皆さんに熊本地震時のお話を聞きました。

#### 熊本地震時、その後どんな対応をされましたか。

前震、本震と2回の大きな地震がありました。まずは地域を歩いたり、自転車で見回りをしました。一人暮らしや高齢者の方々に声かけをしました。その方たちを避難所に連れて行ったり、水、食料品を配りました。社会福祉協議会からブルーシートが必要なお宅はないかとのお尋ねがあったので、地区を回り、ブルーシートの手配をしました。

#### 大変だったことはありますか。

避難所に高齢者を連れて行ったが、いっぱい入れませんでした。集会所を避難所として開けた地区もありましたが、責任問題を心配しました。行政はどう思っているのでしょうか。

#### 最後に皆さんの思いをお聞かせください。

以前、東北に研修に行ったことが、今回の地震時に活かされたと思います。まず、1番に高齢者の名簿を持ちだしました。私たち民生委員・児童委員は地域住民の皆さんの安全・安心をみんなで心がけています。



民生委員・児童委員のみなさん

#### 3月議会の開会日は、2月27日(火)の予定です。

くわしい日程については、議会事務局 096-232-4919 にお問い合わせ下さい。

この議会だよりは再生紙を使っています。

発行責任者	議長	渡辺 裕之
編集者	委員長	手斐 崇治
	副委員長	中岡 敏博
	委員	佐々木理英子
	委員	那須貴理子
	委員	阪本 俊浩
	委員	大久保 輝

議会だより取材のため、脚筆を借用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますが、ご理解とご協力をお願い致します。

**みなさんの議会 傍聴は、お気軽に**  
議会からのお願い

近年にない厳しい寒さが続いておりますが、町民の皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。  
早いもので、激震をもたらした熊本地震から二年の月日が過ぎようとしております。家々の屋根を落っていた青いシートも姿を消し、ようやく復興の兆しが目に見えるようになりました。  
そんな中、議会だよりでは、被災者及び被災地を心より支えていたたいだいた皆様の活動を「災害時緊急対応された皆様特集」として毎号掲載しております。また新企画として「菊陽町の担い手シリーズ」もとりいれました。また、現在議会では、「仮称」光の森多目的広場の委譲、5園一斉の夜首所民営化の是非、この二つの大きな問題について激論を交わしております。今後は、このような案件に際しても随時お伝えできればと考えております。お読みいただきまして、ご意見などございましたらご遠慮なくお伝えください。

## 編集後記

阪本 俊浩

## 傍聴アンケート



議会では傍聴に来ていただいた方々に傍聴アンケートをお願いしています。(12月議会は傍聴者41人)

いただいたアンケートを紹介します。(8人)

#### 1 議会の傍聴には

はじめて来る 1人 時々来る 4人 良く来る 3人

#### 2 議会だよりは

毎回読む 8人 時々読む 0人 読まない 0人

#### 3 議会のどんな情報を知りたいですか。

議案 1人 一般質問 6人 委員会の活動 4人  
定例会や委員会の日程 3人 議員名簿 2人

#### 4 議会だよりの記事の配置など読みやすさは

読みやすい 2人 まあまあ 5人 読みにくい 1人

### ご意見、ご感想



質問者の準備、答弁者のわかりやすい説明が必要だと思う。

「どうなっているのか」は質問としてはおかしい。町づくり計画に従って実施するのが行政の基本原則であるので、その実行状態を確認して不明なことを質問するのが原則である。



諸々の事業で議員の方でも理解できていなかったり、知り得ないところがあるようだ。議会だよりではそこらの点をつまびらかにしてほしい。

### 表紙の紹介

武蔵ヶ丘第二保育園の豆まきの様子

### お詫びと訂正

第93号題字「きくよう」におきまして、学校名の間違いがありました。

(正) 武蔵ヶ丘北小学校

(誤) 武蔵ヶ丘小学校 です。

お詫びして訂正致します。